

## 東日本大震災・・・

3月11日(金)14時46分、大きな揺れとともに宮城県は被災しました。沿岸部の津波の被害は甚大で、続く福島県原発問題など、だれも想像できなかったような現実を迎えています。皆さまは、この震災津波のなか、どのようにお過ごしになられていますか？ライフラインがいまだに回復していない地域もあると思います。

右の写真は、女川町立第二小学校から女川の町を写したものです。津波が町を全部壊してしまいました。

(3月31日、協会職員と同行した五十嵐が写しました)



## 宮城県ユニセフ協会がスタートしました

(財)日本ユニセフ協会宮城県支部は、公益財団法人日本ユニセフ協会と協力協定を結び、県内で唯一ユニセフ活動をする団体「宮城県ユニセフ協会」と名称を変え、4月1日スタートしました。しかし、この震災の影響で、順調なスタートはできていません。ホームページの変更も未着手です。トピックスだけは、随時情報を更新していきますので、どうぞごらんください。

## 2011年度の活動は・・・ほとんどが中止・・・

事務所のあるみやぎ生協文化会館ウィズは、秋ころまでは2階の会議室が使用できません。そのため、ボランティア例会やユニカフェ、コイン仕分け、先生対象のリーダー研修等、実施できないことになりました。みやぎ生協の組合員活動は8月までほとんどが中止になります。6月4日の「ユニセフのつどい～地球のステージ」は福祉プラザから正式な断りがないので、現在は保留です。他の会場を捜すなど検討したいと思います。お心あたりがありましたら、お知らせください。

(生協の本部建物が危険となり、ウィズの2階に移転中です)

## 先進国日本を支援中です・・・50年ぶりの日本支援・・・全国では募金活動も・・・

震災直後に、ユニセフはただちに「先進国日本」を支援することを決め、ソマリア・アフガニスタン・ハイチ・ニューヨーク・ベトナムなどで活動している日本人のユニセフ職員を日本に派遣して、子どもたちを支援する活動を始めました。ユニセフ東京事務所や日本ユニセフ協会が、地域のパートナー(みやぎ生協や立正佼成会、各大学など)と協力しながら、物資の提供や「子どもにやさしい空間」の実現、学校再開に向けての児童生徒へ学用品等の支援を着々とすすめています。4月8日には女川の小中学校へランドセルや学用品を贈呈します。日本ユニセフ協会が呼びかけて集めた絵本の「ちっちゃな図書館」が石巻市でスタートしています。今後は活動地域を塩釜・南三陸町・気仙沼に広げていく予定で、宮城のボランティアさんにもご協力いただけるように考えたいと思います。現在は、海外から帰国したユニセフ職員(専門職)の指導もと、大学生のボランティアが活動しているそうです。「箱の中の幼稚園」の実践を私たちもやってみたいですね！ 少しお待ちを！



4月の「UNICEF NEWS in みやぎ」は発行中止です。新しいグッズカタログの発行も遅れています。今後、生協の活動との関連から、ユニセフの事務所はしばらくは(不本意ながら)五十嵐ひとりになります。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef-miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所:月曜日～金曜日

10:00～17:30

上記以外 090-7339-5068(五十嵐)